

# ザ・ビッグ・バンド オブ ローグス



## ザ・ビッグ・バンド・オブ・ローグス

10周年記念パーティー

---

Date / 1977.7.3 (Sun)

Time / P.M. 12:00

Place / 自転車会館ホール

---

## 10周年記念パーティによせて

10周年記念パーティおめでとうございます。皆さんと、おつきあいする様になってからもう何年になりますか。皆さんを通じて、たくさんのお友達が出来ました事を大変うれしく思っています。

10年もの間皆さんが固く団結して音楽と取りくんでこられた苦勞は、皆さん全員の情熱と協力があればこそだと思います。

コンポーザ&アレンジャー 山木幸三郎

人間のもっている知識や能力やテクニックなどには限界があるが真心をこめて伝えようと努力し演奏すれば、必ず相手の人々に感動を与え強く訴えかける事が出来ると思います。今日もすばらしいジャズを聞かせてくれるでしょう。又、このパーティに参加させていただいて、大変うれしく思っています。

\*\*\*\*\* 迷うことなく \*\*\*\*\*

ザ・ビッグ・バンド・オブ・ロークス代表世話人 伊波秀進

本日は御多忙中のところをおいでいただきまして誠にありがとうございます。メンバー一同に成り代わりまして心より御礼を申し上げます。皆様も既に御存知のようにロークスは十年目を迎えました。十年目にして私の頭の中を駆けめぐる事柄はとてこの紙面では申し上げられせん。しかしながら唯ひとつ忘れてはならない事があります。それは私達を今まで暖かく見守っていただいた方々に対する感謝の気持であります。このプログラムの中にロークスファミリーの一覧表がありますが、五十六人にのぼる名前が載っております。これひとつを眺ましてもいかに多くの人々が私達ロークスを取り巻いているかが解ります。ましてや十年もの間に私達に接していただけた人々はとてその数を推しはかれるものではありません。幸いにも本日のパーティに御出席いただけた方々には私達一同気持をこめまして御接待申し上げる所存でございます。が、あいにくの御都合で御来場いただけなかった人々にも、又今まで

で一度だけの出会いの人々にも私達は同じ感謝の気持を持ち続けてまいります。

さて、改めて十年を振り返りますと、OBファミリーから現在のメンバーまで私の罵詈雑言に耐えて、その上私の音楽の指向を理解し、物の見事にロークスの音を創り出してくれました。音楽の中には悲しみや苦しみの要素がありますが、私は音楽の中に身を置くことによってその楽しさで悲しみを融和しうる事を信じているロマンチストです。このような私を理解してくれたメンバー全員にも私は感謝いたします。十年間の経験から得た教訓めいたものは『迷うな！』という事です。私はこれから先、出来るだけ迷う事なく突き進みます。しかし私は忘れません。それを許してくれるのはロークスのメンバーとそれを取り巻く多くの方々という事を！

皆様、楽しいひと時をお過ごし下さい。ありがとうございました。

……セントメリ、インターナショナルスクールへの

御礼のこぼ……

A Special Thanks to

St. Mary's International School

To group such as ours, one consisting of common office workers who want to play music, the biggest problem to face is not whether or not we can afford to buy our instruments and music. It is always a matter of "Alright, we have all our equipment! Where do we practice?" We "The Big Band of Rogues" have been very fortunate over the past several years, St. Mary's International School has been kind enough to let us use one of their classrooms as practice grounds. If it were not for them, we doubt we would have made it this far.

We are sure that it is impossible to repay what we owe to this school. Thus, to mark our tenth anniversary, we (each one of us) would like to give our most sincere thanks to the St. Mary's International School.

\*\*\*\*\* PROFILE \*\*\*\*\*

10年前、法政大学ニューオレンジ・スウィング・オーケストラのOB4人が、卒業3年目にして、どうしてビッグバンドの素晴らしさを忘れる事が出来ず、銀座山野楽器のホールで練習しはじめたのが、そもそものログスの始まりでした。ログスは英語で「いたずらっ子」「やんちゃぼうず」という意味です。発起人の4人はほぼ「いたずらっ子」だったのでしょか。参考までにその名前を上げますと、伊波秀進・熊谷展雄・花井国義・小林隆昭以上4名のROGUESです。初めは4人で細々と練習していたログスでしたが、それを知ったOB、友人が指をくわえて見ているはずはありません。私ももとログスに参加し、まさしくザ・ビッグ・バンド・オブ・ログスが誕生したのです。そして1967年11月、日本電子工学院の「かまた祭」出場が、ログスにとって晴れの初舞台となった訳です。以来10年、毎年「かまた祭」に出していただいている事は、ログスにとってどんなに励みになって来たかわかりません。これをきっかけにログスはいよいよ軌道に乗りはじめました。メンバーも安定し、曲を集め、楽器運搬用トラック、今は亡きフオーマーを購入し、3年後の1970年には、高輪プリ

ンス会館に於いて第1回目のリサイタルを開く事が出来ました。そしてその頃、ログスを影ながら応援してくれた当時 St. Mary's International School ミュージック・ディレクター、リチャード・パンチョス氏の事は忘れる事が出来ません。彼はログスの為に何かと力を貸してくれたばかりでなく、練習場まで、提供してくれたのでした。安定した練習場があるという事はメンバーにとっての上もなく嬉しい事です。ただ楽しむだけでなく、どうせやるならやれるだけやってみよう、これがメンバーの気持ちでした。1971年リバミュージック主催のビッグバンドコンテストで、社会人の部で、優勝できたのも、メンバーのそんな気持ちの成果だったに違いありません。その後KBL（神奈川県ビッグ・バンド連盟）に参加し、たえず発表の場を求め、それを目的に練習に励みました。そして去年、念願のアメリカコンサートツアーを終えて、今日10周年のパーティーを開ける事は、10年前の4人に想像できたでしょうか。ログスは永遠にログスです。「老偶巢」とならない様、これから10年20年後も音楽好きの仲間が、精一杯演奏出来る場でありたいと、発起人4名始めメンバー全員願っているに違いありません。

ログス 10年の歩み

- ◇1968. 2 —ログス結成（山野楽器で練習）
- ◇1968. 6 —ヤマハライトミュージックコテスタに於て地区予選で優勝
- ◇1968. 11 —第一回かまた祭出場（以後10年連続出場）
- ◇1969—TV初出演、曲目はハードデザイント
- ◇1970. 6 —日産ホームーを購入。当時25万円この日より三浦氏、楽器運搬の役から解放される。ホームーを買うためにログスは品川プリンスホテルで、この夏約2週間のアルバイトをやりました。
- ◇1971. 6 —ログス第一回リサイタル。会場は品川のプリンス会館。
- ◇1972. 5 —セントメリーバンドドラマに出場
- ◇1973. 12 —リバミュージックビッグバンドコンテストに於て社会人の部でみごとに優勝。審査員よりトロンボーンセクションがほめられた。この時井上（2代目ドラマー）が個人賞を獲得。
- ◇1973. 3—セントメリーディナーパーティーに出場（以後毎年連続出場）
- ◇1973—練習場がセントメリーになる。
- ◇1974—グレース先生来日、クリニックを行う。
- ◇1975—KBL（神奈川県アマチュアビッグバンド連盟）参加
- ◇1975—リチャードパンチョス氏、高校生を連れて来日。
- ◇1976. 3 —横浜アカデミーホールに於てダンスパーティーに出演（以後連続毎月出演）
- ◇1976—神奈川TV（UHF42ch）に出演
- ◇1976—不死鳥のように我々の演奏活動を支えてくれたホームーであるが、悲しきかなついに運搬機能を失い二世のキャラバンバンタタッチ。
- ◇1976. 4～5 アメリカ演奏旅行 総勢35名
- ◇1976. 7 帰国記念演奏会（渋谷エビュキラス）ニューハード特別出演、カウントセイノー及びB&Sジャズオーケストラ友情出演
- ◇1976. 8 —TV番組 岸部シローのぶらり探訪に出演（東京12CH）
- ◇1977. 5 —ログスファミリー千葉の秋留でパーベキューパーティー。

友遠方より来たる

アメリカからのお客さん

一年前我々が渡米した際にお世話になったニューアーク・ハイスクールのメンバーと再び今日ここで喜びの再会をする。

来日メンバー



ニューアークハイスクールでの演奏  
—リチャードはジャズでも指揮します—



今度は是非日本へ来て下さい  
—日米トランペットセクション—

ユージン・グレース氏（左）



リチャード・パンチョス氏

リチャード・パンチョス氏の横顔

1944年ニューヨーク州生まれ。ハイスクール卒業後サン・ホセ州立大学へ進学。在学中、サンフランシスコ交響楽団の指揮者ジョセフ・クリップ氏に指揮を学ぶ。大学2年のとき、学生の指揮コンクールで優勝。これを転機にニューヨーク州立音楽大学へ転校、指揮法についての理論と実技を身につける。1967年、東京のセントメリーズインターナショナルスクールの音楽教師となり、1970年8月より山野楽器シンフォニックバンドを指揮する。（この頃からログスとの交流が始まる）帰国後は、ニューアーク・ハイスクールのインストルメントディレクターを勤め現在に至る。

## 10年目のひとりごと

25,000円。昭和40年、私の社会人となって初めての月給でした。

ローグスの歩みは、私の会社づつめとほぼ同じ歴史でもあります。当時8万円位だったと思いますが中古の楽器を月賦で購入しました。ようやく高度経済成長期にさしかかったとはいえ、給料の3倍近いことは大変なことでした。その頃の私は、営業として藤沢地区に勤務しておりました。当時の練習についてははつきり覚えておりませんが、藤沢からの参加は苦痛でした。45年に東京本社に転勤となってからは楽になり、それからは出席状況もよくなって来たのです。40年の後半からは、いわゆる石油ショックからの低成長期に入り、我社も世間並みに苦しい

## ローグスと私

早いもので、私がローグスに籍を置いてから5年目になります。当時、私がいちばん最年少で、いつも「みそっかす」だとメンバーに甘えていたのですが、今ではもはや中堅のオバハン。

ローグスの歴史の半分を、共に歩んで来て今日の10周年記念の会をメンバー全員、しかもOBの方々といっしょに祝えることに、とても喜ばしいことだと思っています。

よく、社会人のビッグバンドを運営するのは人員又は場所、金銭的に困難だといわれ、ほとんどのバンドが自然消滅してしまうと言われますが、そんな中でローグスが今まで続けて来られたのは練習場所に恵まれていたことや、周囲の方々の厚い御好意のおかげだと思っています。

しかし、一番の根本となったのは、メンバー全員「とにかく音楽が好きだ、ただ演奏できればいい」という馬鹿な信念の賜物だと確信しております。

私のJAZZとの出会いはローグスの出会いに始まりました。私自身の中での音楽は、ローグスを原点にして発展したといっても決して過言ではありません。

### THE BIG BAND OF ROGUES

What is a "rogue?" Is he merely a bandit, or something more than that? In "The Big Band of Rogues," each rogue is a playboy, not in the sense that he is constantly running after girls, but in that he knows how to enjoy life. As long as he has music to play, his sorrows, angers, and depressions all become enjoyable to him -- he is able to admit them into his life and look at them. In his music life, each rogue is relieved of all social pressures, since there is no discrimination by rank, age, or ethnic grouping. The only thing that exists in the mind of a rogue is respect for his instrument, music, and those around him. The goal of each rogue is to be able to enjoy every minute of his life through amateur musicianship. This becomes possible only because one night's practice makes his whole day, week, or month look good. The music he plays is a clear reflection of his spiritual self. The more developed each rogue becomes internally, the better they sound as a group. To each rogue, music without spirit is not music, since the spiritual aspect of a piece of music is greater than the music itself. The rogue is an individual of soul.

On our twentieth anniversary, "The Big Band of Rogues" should sound much better than we do now, because we shall have grown more spiritually. Please look forward to that day, ten years from now, on which we shall see you all again.



## 小松九一郎

状態に入りました。しかし、ローグスの活動が活発になって来たのはこの頃からはなかったかと思えます。苦しいながらも楽しいローグスということで練習にも身が入りました。そして今や最古参となりました。

この10年間をふり返ってみると数々の思い出はありますが。メンバーの一人一人が、違った会社からの集りであったことから、より家族的な雰囲気です、やれたことが、今まで続いている大きな要因ではないかと思えます。

今の初任給から考えますと、楽器というのは安いですね。現在十万円の給料。妻子有り。進歩ないですね。

## パーカッション担当 岩本 弥生

せん。だいたい、根性のない私が4年間もの間バンドに居たという事実は私にとって画期的な事なのです。でも、それだけJAZZというものは魅力的で奥深く、楽しいものなのかもしれません。

現在ローグスには、私を含めて女性は2名しかおりませんが、女性にももっとJAZZを知ってもらい、バンドにも意欲的に参加してほしいと思います。

そして、将来女性だけのビッグバンド「ミス・ローグス」などというのが出来たら素晴らしいですね、

でも、やはり女性は結婚したら、家庭に専念しなくてはいけないという一般社会のモラルがあるのでつい引っ込み思案になってしまうのです。世の中の男性諸君！もっと女性の趣味に対して理解してあげましょうね（私のダンナ様になる人かわいそー）

ご来賓の皆様、OBの方々、ローグスは今もって健在です。今日は思いっきり飲んで、食べて、そしてお腹の底から笑ってこの短かいひと時を精いっぱいお楽しみください。

そして、この会場にいる人みんながローグスファミリーではないでしょうか……。

日本語の訳は右にあります

## 音楽とは……

いままでの音楽に対する気持は、何であったのだろうか。

この頃、しばしば心の中に不思議と、沸き上がってくるが多い。

学生時代の有り余る時間を、唯音の中に没し自己満足し、井の中の蛙となっていた頃を思い出すと、身体のごことが痛むような気がする。

なぜ、もつと基本を大切にできなかったのだろうか。

その最たるものが、先日のクリニックであった。1回目は、トシコ・タバキン楽団のリード・トランペッター、ボビー・シュー、2回目は、テナー・サクセス、ルー・タバキンが講師となり、色々な講義をしてくれたことである。

やはり、感銘を受けたのは、ボビー・シューの呼吸法、ルー・タバキンのオーバー・トーン奏法であった。この時、あらゆる楽器の基礎は、これ以外にないと思えた。しかし、もし学生時代にこのようなクリニックがあっても、参加しなかったであろうし、参加しても素直に聞けなかったと思う。なぜなら、余りにも自分に対し過信していたからである。

私の考え方を根底から覆されたのは、ルー・タバキンの講義に出てきた言葉『キーを余りにも頼り過ぎて』という言葉であった。今までの感覚であれば、特にサクセスの場合など、『C』のキーを押え息を吹き込めば『C』の音が自然と出てくる。それが、当然であると思っていたが、オーバー・トーンを見せつけられ、余りにも、鮮やかにデモンストレーションをされたため、唯『信じられない』の一言で息が詰まる思いであった。又、強弱の感覚が桁はずれに違っている。我々が、mfのつもりで演奏しても、ppにしかとられず、ffのつもりがmfであったり。

やはり、ビッグ・バンドのサクセス、及び、その他の楽器のサイド・メンの力量、尚且つ、それを上回るリード・トランペットの宿命など、目のあたり

## 「ローグ」とは何ぞや？

トランペッター アンドリュウ・ミルナルチック

「ローグ」とは何である？ということをよく聞かれる。「ローグ」とは単に「やんちゃぼうず」とか「盗賊」の事を意味するのだろうか？ザ・ビッグバンド、オブ・ローグスのメンバーの一人一人の事を「ローグ」と言う。「ローグ」というのは人生をフルに楽しんでいる人の事なのだと思ふ。生活をしていると色々つらい目にあります。これを各ローグは音楽を通して乗り越えているのである。ローグスの練習等で感じられる雰囲気はユニークである。他人のつきあいと言うより家族のような人と人とのふれあい。非常に美しいものである。ローグスでは社会的地位等の意識は全くなく、なごやかな人

に見せつけられた。

私も楽器を手にしてから、早15年目を迎えようとしているが、その奥の深さ・神秘性に、唯々、努力の一字しかまだわからないのが現状である。時として、私はアマチュア・サクセス・プレイヤーであるとして自己を慰め、何故これ程まで練習しなくてはいけないのかと思ひ、楽器を憎く思うことがある。

しかし、プロ・アマ関係なく音楽を自分なりに追求する気持が、いつもその後かから沸き上がり、時として、音楽をやっていることに、非常に幸福感を見つけ、のめり込んでゆくのが現実である。自分でも理解できぬ程、音楽がなによりも好きであることは、確かである。

我々ローグスは、余りにも恵まれ過ぎた環境に居るため、時として、その有り難さを忘れ、天狗となる。しかし、今日よりも明日、明日よりも明後日と一步一步前進しようとする気持を、持続することが必要と感じる。練習場所にしても然り、周囲の素晴らしいプレイヤーにしても然り、他のバンドより、我々は非常に勉強しやすい状態に、置かれていることを、常に肝に銘じ感謝しなければいけない。又、それらを最大限に利用しなければ、なんのために音楽を追求し、また、練習しているのかかわからないことにもなる。

だが、やはりローグスが素晴らしいと言われる原因は、ともすれば他のバンドより上手に演奏しなくてはとか、コンテスト等では絶対トップにならなくてはという、悲愴感がなく、唯々音を楽しむことに徹しているからであろう。

これが正しく『音楽』なり。

楽しい演奏なんて、二日酔いに汁粉を食べるようなものである。

これからも、この精神を忘れず楽しいバンドとして、いつまでも、ビッグ・バンドの魅力を追求してゆきたい。

達で結合されているバンド以上のバンドである。

彼らの演奏は彼ら一人一人の心がこもっている。ローグ各自にとって練習時間と言うのは外でたまつたストレスを自分の楽器を通して放つ所でもある。彼らにとって音楽とはユートピアの一種である。それだけに彼らは一曲一曲に心をこめて楽器を吹いている。ローグスにとって気持のこもっていない音楽はクリープのないコーヒーというよりコーヒーのないクリープほどに味気ないものなのだ。

彼らが精神的に成長するにつれて彼らの演奏もグッとさえてきている。もう十年たったら想像もつかないほど大きなローグスになっている事であろう。

氏名	出身オーケストラ名	住 所	752-1611	
SAX	伊波秀進	東京都大田区池上8-8-3 石川荘	752-1611	
	花井国九	千葉県市川市香久保3-9-3	0473-73-9253	
	小松隆一	神奈川県横浜市西区西竹の丸17	045-641-6096	
	高橋英友	千葉県柏市豊四季台3-1-64-107	0471-65-8663	
	三浦清	神奈川県川崎市川崎区渡田新町1-7-11 齊木荘	044-211-0604	
	赤川勝	神奈川県横浜市磯子区磯子3-3-18	0468-48-4145	
	佐藤藤彦	東京都豊島区高松3-11	955-3889	
	高野奎介	板橋区大山金井町53-6	973-6270	
	金沢光	昭島市朝日町1-11-17	0425-44-9553	
	小松茂	長野県長野市篠ノ井塩崎6600-29	0262-92-2769	
	大森英二	茨城県水戸市成東2-13-29	0292-27-3067	
	寺森純	東京都目黒区碑文谷2-21-7	713-6465	
	森井典	大田区上池台4-27-3	729-4064	
	久野保	目黒区中目黒3-3-20 青木荘	712-9215	
	田所英典	神奈川県茅ヶ崎市丹沢902	0467-51-8630	
TB	熊谷展	千葉県千葉市真砂3-16-1-511	0472-78-6900	
	仁多見	東京都大田区中央8-15-10	751-1449	
	外山	練馬区桜台5-43	991-7718	
	中沢	文京区本郷6-8-2	812-5380	
	橋本	東村山町富士見町1-13 電タアパート511号	0423-93-6515	
	小十	練馬区高野台1-12-103	904-0542	
	田中	大田区西船場3-4-3 白鳳荘	742-8558	
	津田	福島県郡山市菅野町川崎上川原2241	02426-6-2104	
	倉持	東京都大田区中央6-3-24	753-4546	
	小島	千葉県市川市北方1-19-3	0473-35-2290	
	手島	神奈川県川崎市中原区宮内634	044-788-5039	
	荒井正	兵庫県西宮市菊谷町12-23-102	0798-72-6457	
	茂田	千葉県松戸市下矢切330	0473-62-1439	
	後藤	船橋市海神5-25-18 大庭荘2号	0474-34-1934	
	TP	橋本	神奈川県横浜市金沢区釜利谷町4488-5	045-781-5193
勝見		東京都町田市玉川学園8-11-23 日本教文社寮1-2	0427-27-2273	
鈴木		大田区新浦田2-22-20	733-7972	
鈴木		静岡県浜松市田町333 グリーンパーク内	0534-54-2717	
鈴木		滋賀県守山市洲本町2087	07758-5-0137	
鈴木		静岡県浜松市津島町890	0534-61-2360	
鈴木		神奈川県鎌倉市極楽寺2-15-6	0467-23-0163	
小井		千葉県市川市田尻5-20-10	0473-33-8812	
井上		東京都大田区西浦田3-21-5	753-4544	
伊藤		江東区南砂2-3-2-1302	649-7497	
小池		神奈川県横浜市港北区新羽町2986 アルプス電気社員寮325号	045-531-1897	
B		名倉洋裕	北海道札幌市白石区東札幌6条3丁目 公団住宅1-510	011-823-8109
		北沢	長野県長野市篠ノ井布施五明下六反372-3	0262-92-4312
		市島	秋田県秋田市大町4-4-11	0188-62-5567
		寺下	東京都大田区新浦田2-17-14 池田荘	738-6679
	細川	世田谷区窪堂1-8-18 幸成荘C号	425-6404	
G	菅本	大田区西浦田6-88 ゆうき荘		
	菅本	世田谷区奥沢1-7-6	729-0909	
	菅本	調布市佐須町1038	0424-83-7078	
P	菅原	中野区沼袋4-16-6	389-4926	
	菅原	豊島区高松3-11	955-3889	
	菅原	大田区西船場4-27-10	742-0951	
PuC	吉田	北区豊島5-5-5-604	912-8902	
	島津	中野区新井1-4-7	385-7198	
	岩本	実践女子学園吹奏楽部	409-7829	
	北崎	港区南青山7-11-12	609-4375	
	古館	葛飾区金町2-15-13	681-0316	

出身地	勤務先	752-1611	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
東京	隅リバミュージック	752-1611										
東京	丸井織機工業㈱	634-9211										
横浜	東京マックスファクター㈱	772-2111										
東京	山野楽器(銀座店)	562-5051										
北海道	新和パネル㈱	044-355-6351										
東京	石川島播磨重工業	045-751-1231										
山形	オンワード樺山	455-2111										
東京	吉野屋	973-6270										
東京	ボディソニック㈱	950-3321										
長野	丸善食品工業㈱	02627-2-0536										
水戸	ピアノ調律大森	0292-27-3067										
東京	リッカーマシン	572-7211										
東京	城南信用金庫	750-4161										
滋賀	自由業											
北海道	横浜消防局	045-881-0119										
東京	丸井織機工業㈱	634-9211										
東京	旭産業㈱	751-6124										
東京	コロンビア貿易㈱	291-0642										
東京	三越(新宿店)	354-1111										
北海道	東京北データ通信局 第一課	241-9873										
東京	東都医研㈱	464-0175										
静岡	東芝商事㈱	574-5233										
福島	タキタ薬品	0249-59-6611										
東京	東京日産モータ㈱	763-1271										
青森	(有)共栄繊維	659-4301										
東京	馬里島	722-3429										
東京	石川島播磨重工業	06-251-7871										
千葉	岩淵金属	0473-68-2222										
東京	㈱広屋	667-6371										
横浜	日本NCR㈱	463-0131										
北海道	㈱日本文教社	401-9111										
東京	㈱東京食肉供給公社	472-2181										
浜松	㈱グリーンパーク	0534-55-4089										
滋賀	大湖農協	074-846-3100										
浜松	庄田商事㈱	0534-63-7111										
東京	合衆国ミシガン州アンアバ大学進学	683-3741										
秋田	小林部品㈱	683-3741										
東京	自由業											
東京	㈱よみバック	265-7811										
東京	アルプス電気㈱	727-6031										
東京	山野楽器(札幌店)	011-823-8109										
長野	五味楽器店	0268-24-4578										
秋田	河周	0188-62-5567										
新潟	新和パネル㈱	044-355-6351										
滋賀	自由業											
岩手	日本工学院在学中											
東京	横浜日産	045-242-1123										
東京	自由業											
大阪	㈱スイングジャーナル	432-7751										
東京	主婦											
東京	東邦大学医学部大森病院	762-4151										
千葉	日本コンピュータビューロー㈱	437-1456										
浜松	森澄石材	929-4668										
東京	RVC㈱	499-3311										
東京	レストランカマール	583-2290										
千葉	㈱三松(八王子店)	0426-25-3218										

■印は渡米メンバー

\*\*\*メモ\*\*\*



現存するローグス最古の写真

ローグスの音楽を  
ささえる男



ローグスのアレンジャー  
(三浦謙二)



ローグスの指揮者  
(伊波秀進)

# ローグス

—あなたはどこに写ってますか—

セントメリーディナパーティ



## \*\*\*\*\* 座談会 \*\*\*\*\* この10年を語る \*\*\*\*\*

司会 皆様おいそがしいところをお集りいただきありがとうございます。それでは早速ですがローグス結成十周年記念ということで伊波さん熊谷さんに、誕生から今日までのいろいろな話を私達、中沢、浅田、小池の三人が司会という形でいろいろと聞いて行きたいと思ひます。まず始めにローグスが結成されたいきさつというものを新しいメンバーも増えた事ですのでお話し願ひたいのですが。

熊谷 当時僕達は就職して2、3年たったとはいえ学生気分が抜けずに暇があると何人か集ってレコードを聞いたりして現役時代をなつかしんでいました伊波 あれはたしか品川のボーリング場のレストランでマッターホルンだったと思うが……

熊谷 僕と花井と小林と伊波の四人でコンボでもいいからもう一度やってみようかなんて話になって…伊波 どうせやるならやっぱりフルバンドがいいということになったんだね。

熊谷 そうだったね。あれはたしか発起人会ということになったと思うが……

司会 メンバー集めや練習場所はどのようにしてや

ったのですか？

伊波 その頃僕は山野楽器に勤めていたのでその点は幸運にもやる気のある人を集める事が出来まして場所も山野楽器の高橋さんのバックアップにより、週1回の練習ということで順調にスタートできたわけです。その時が10年前の2月でした。

司会 その頃一番苦労した事はどのような事ですか？  
熊谷 何といっても楽器を運ぶ事じゃないかな。三浦が孤軍奮闘でがんばってくれたからな(三浦さんは会社のライトバンを楽器運搬に使って使っていました)  
浅田 あの頃は僕たちもよく手伝いに行きました。  
中沢 その頃ですねテレビに出たのは。たしか4チャンネルだと思うが。あの時三浦さんの手伝いで車にドラム、ベース等をつんでTV局へいそいでたんですが車が混んでいて交差点で立往生し本番ストレスに飛びこむという事がありました。

熊谷 そんな事があって楽器運搬専用トラックがどうしても必要だという話が自然に出たんだな。1人に苦労させてはいけないという事で……

伊波 あの頃お世話になった人で蛸崎さんと伊藤さ

# 思い出の写真集

クインシー・ジョーンズの  
シャツを着て……



1972. 12. 17 =決勝大会=  
ローグスが優勝した時の写真



\*\*\*\*\*

んという女性の方がいまして、この方はしばらくローグスのマネージャー的な事をやって下さってたんですが、ある日仕事をとってきてくれたんです。この仕事というのが品川のプリンスホテルで2週間の演奏をすると20万のギャラが入るといううまい話、これで車を買えるとみんな一生けんめいやりましたね。今考えるとアメリカ行きと同じくらいの大事業だったと思います。

司会 譜面はどうしたんですか？  
伊波 それが一番苦労したね。ほとんどニューオーレンジから貸りてきて、ブラックノートの人に写譜してもらいました。

浅田 ライトミュージックコンテストに出場した頃のメンバーがまた良かったですね。

伊波 銀座予選の時はパリの四月とアイリメンパークリフォードで次の東京大会では伊沢君のトロンボーンソロをやったね。そしてライトミュージックコンテストに出た事がローグスの一つの地固めにもなったと思う。

熊谷 今思えばプレーの方はニューオーレンジが中心

でバンドの細かい仕事、譜面や練習の準備なんかはブラックノートの人たちが支えてくれていたといっ

ていいんじゃないかな……  
伊波 そうだね。その事は非常に大切な事ですね。  
司会 この辺でリチャードのことに触れてみたいのですが……

伊波 最初は僕が山野楽器にいた頃のお客さんだったのですが、妙に気が合ひまして2、3回会って

いるうちにリチャードの方でトンカツを食べに連れていってくれてましてね。それ以来付き合いが続いて

います。  
熊谷 彼については有形、無形につきたいへんお世話になりましたね。

伊波 彼の音楽性で僕が受けた影響は大きいと思います。有形ということばが出たが、僕が山野を退職した頃、練習場がなく、あちこち借り歩いていた頃でした。その頃丁度リチャードがセントメリー学院の先生をしていたので自分の教室を我々に提供してくれたんですね。我々がアメリカの演奏旅行を計画実行できたのもリチャードの協力のおかげなのです



渡米メンバー（ハワイで）



なつかしい写真

伊豆旅行の写真



ローグスの宴会風景

一度いらして下さい

## 記念 写真集



宴会にはかかせない人  
（島津夫妻）

和 気 蕩 々  
新トロンボーン  
・セクション  
（左から中沢・田中）

\*\*\*\*\*

せてもらったわけですが非常に勉強になりました。

**司会** この時トロンボーンセクションが審査員にほめられたんですが、この頃のメンバーで仁多見、伊沢、熊谷さん達のコンビをどう見ますか？

**伊波** やはり最高でしたね。セクションというのはリード吹きを4人集めてもうまく行くとはいかざらないが、この3人のコンビは自分の役割を絶妙のコントロールで吹きまくったという事で、最高のセクションであったと言えますね。又小松君がサクセスセクションで3番に徹しているという事を同様にローグスのすばらしさ又は強さでもあると思います。

**司会** この時、カウントセイノーオーケストラさんも出場したんですね。

**伊波** カウントセイノーさんは歴史をローグスより古いですし、良きライバルとしてバンドぐるみで今までお付き合いさせていただいてますね。

**司会** 今バンドに要求する事はどういう事ですか。

**伊波** ハーモニーの厚みですかね。特にトロンボーンセクションの……そうすればベトナムもずいぶん楽になるし。それからたとえばグレンミラーを演奏し

## The Family of Rogues &

ローグスの乙女たち  
（菅原・岩本）



ローグスは楽しいデスよ  
（仁多美・田上・橋本・小松）



## The Big Band of Rogues



ローグスの演奏をリードする男達  
—リードふき三人衆—  
（SAX寺田・TB仁多見・TP浅田）

黄金のパークッショントリオ  
（北崎・岩本・島津）



\*\*\*\*\*

た場合、今のローグス流の吹き方になってしまうんですね。やはり本当のグレンミラーの音を出せるバンドになりたいなんて思いますね。以前グレーブ先生が来日してローグスを教えて下さったあとだったと思うが、先生が帰ったあとで僕が指揮したらあれほどいい音を出していたローグスが全然だめで頭に血がのぼった事もあったけど、最近では山木さんに教えていただいた時にもそういうことがあったが、ともかく、ローグスにはそういう力があると僕は信じているわけなんですよ。

**熊谷** ローグスファミリーという言葉があるが、音楽を離れての付き合いも見のがせないと思う。

**浅田** 昔はメンバーの奥さんも若かったので野球大会があると弁当をもって来てくれたりしてローグスのある面での美しい面がありましたね。

**小池** 今年の5月にも家族ぐるみでバーベキューをやったけどこういう事も時間が許せば一年に何回かあった方がいいと思いますね。

**司会** ところで渡米を思い立ったのはどういう事からの思いつきだったんですか？



海を越えた握手

我 日本男児なり！



帰国記念コンサート（1996. 7. 11）

アメリカでのひとコマ

**伊波** 3年前リチャードが高校生を連れて来日した時に、ひょっとしたら我々もアメリカへ行く事が可能ではないかと思いました。丁度小松君に相談したら彼はすぐに賛同してくれました。この事が僕を勇気づけてくれました。運営委員の寺田、田中、小池の骨折りも大変であったと思います。

**司会** この頃30才を越えた熊谷、花井、伊沢というようなメンバーが抜けているんですが……。

**熊谷** いろいろな事があると思うが、会社でも中堅となり、家庭を持ち体力の衰えとあいまってだんだんついてゆけなくなってしまうんですね。

**司会** 最後にひと言ずつお願いします。

**伊波** OBでもし吹ける人がいたらいつでも戻ってきてほしい。パディリッチは60才でプレーしてるのを見てほしい。いつでも歓迎します。

**熊谷** 現在新車を買ったという事ですが昔の苦勞の積み重ねがあったという事も忘れないで下さい。そして末永く老愚巢（ローグス）ファミリーで活動して欲しいと思います。

**司会** 今日は本当にありがとうございました。

10周年記念パーティに御来場して頂きまして有難うございます。このパーティーを企画、運営しましたメンバーを代表してお礼を申し上げます。御存知の通りローグスのメンバーは各人各様でみんな別々の会社に勤めています。消防士、電々公社、コックさん、セールスマン、石材店、レコード会社、食肉供給会社などと実にバラバラです。しかし1つだけ共通したものを持っています。もちろんそれは音楽をすることです。1週間に1~2回の練習、月に何度かのパーティへの出張演奏などに、遠くは松戸、横浜、東村山から来るメンバーもいます。こういったビジネスとバンドの活動にプラスして、今回の記

念パーティのために運営部を作りました。みんな担当の仕事、例えばプログラム、チケット作成、会場の手配、OBへの連絡、住所録の作成、照明、音響の方との打合わせなどを受け持って活動しました。しかし何といっても限られた時間と条件の中でのことなので、今日のパーティーに御来場の皆様に喜んでもらえるかどうか心配ですが、とにかく一生けん命運営部のメンバーは頑張りました。

どうか素適な日曜日の午後を大いに飲み、食べ、踊り、音楽を聴いてお楽しみ下さい。

ありがとうございました。

ザ・ビッグ・バンド・オブ・ローグス

10周年記念パーティ 企画責任者

仁 多 見 武

## ローグスがお世話になった方々

——紙面をおかりして御礼申し上げます——

セントメリーズ・インター・ナショナル・スクール 日本工学院専門学校…上山源司郎、郷地正治、市川哲夫、芸術学部 宮間利之とニューハード ノースウェスト航空…Mr. ギルバート 山野楽器 プリマ楽器 山木幸三郎 中川賢二 竹村繁 蠣崎香折 伊藤幸子 リチャード・パンチョス Mrs. ブラウン ブラックノートオーケストラ ニューオレンジスウィングオーケストラ 日産自動車B&Sジャズオーケストラ ビッグウイングオーケストラ 松下通信工業カウント・セイノー・オーケストラ 久原健吾 竹内泰夫 藤 健康 藤井紀美雄 小林正吾 室井孝王 山口二三和

敬称略(順不同)

ここに載っていない多くの方々にもローグスはお世話になっています。

## \*\*\* 本日の協力者 \*\*\*

丸木 孝……表紙デザイン

高野 奎介……チケットの版画及び印刷

プロジェクト・オブ・ローグス……日本工学院芸術学部有志

三浦 博之……美術

大串 克美……照明

加藤 敏博……照明、舞台美術

プログラム編集者

中沢 哲典

浅田 知晴

小池 隆

岩本 弥生

ローグス連絡先

大田区池上8-8-3

石川荘 伊波秀進

TEL 752-1611





--- ROGUES CONCERT ---

--- Music Dance Drink ---

Date / 1971.6.6 (sun)  
Time / 1:00 P.M.  
Place / Takanawa Prince Kaikan

